



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月6日

上場会社名 東プレ株式会社
 コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 2021年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	53,840	66.0	2,738		3,315		1,882	
2021年3月期第1四半期	32,430	38.7	1,330		1,522		1,560	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 2,028百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 1,141百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	35.88	
2021年3月期第1四半期	29.73	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	304,996	166,993	53.6	3,115.63
2021年3月期	309,790	165,632	52.3	3,089.02

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 163,475百万円 2021年3月期 162,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		15.00		15.00	30.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	24.4	4,500	85.9	5,500	255.1	3,000	105.5	57.16
通期	250,000	16.5	16,000	47.7	17,000	3.1	10,000	20.4	190.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	54,021,824 株	2021年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	1,552,391 株	2021年3月期	1,531,739 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	52,483,039 株	2021年3月期1Q	52,482,971 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	
(継続企業の前提に関する重要事象等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う経済活動の停滞の影響を大きく受けた前年同期に対し、自動車用プレス部品を中心に業績が回復し、物量が増加したことにより、売上高 538 億 4 千万円、前年同期比 214 億 9 百万円の増収 (66.0%増) となりました。また、利益面では、売上高の増加などにより、営業利益 27 億 3 千 8 百万円 (前年同期は営業損失 13 億 3 千万円)、経常利益は、33 億 1 千 5 百万円 (前年同期は経常損失 15 億 2 千 2 百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、18 億 8 千 2 百万円 (前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 15 億 6 千万円) となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大による取引先の生産停止の影響で大幅に物量が減少した前年同期に対し、当社の全地域において物量が回復傾向にあり、特に北米を中心に物量が増加しました。これによりプレス関連製品事業全体での売上高は 401 億 9 百万円、前年同期比 199 億 3 千 5 百万円の増収 (98.8%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、車載向け半導体部品の世界的な供給不足によるカーメーカーの減産や生産調整の状況が依然として不透明な状況にあり、新型コロナウイルス感染拡大前の水準までには回復していないものの、10 億 4 千 2 百万円 (前年同期はセグメント損失 (営業損失) 28 億 2 百万円) となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきましては、当社グループ全体での受注・生産は、前年同期と比較して中型車を中心に増加しました。これにより、定温物流関連事業全体での売上高は、116 億 9 千 6 百万円、前年同期比 15 億 5 千 6 百万円の増収 (15.4%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、主に売上構成の良化により、15 億 1 千 9 百万円、前年同期比 2 億 6 千 6 百万円の増益 (21.3%増) となりました。

<その他>

電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」の販売は引き続き国内を中心に好評であり、また、タッチパネルなどの企業向け製品の売上が前年同期を上回ったことにより、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。一方で、空調機器部門におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による住宅の着工遅れなどにより、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、20 億 3 千 4 百万円、前年同期比 8 千 2 百万円の減収 (3.9%減) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、1 億 7 千 6 百万円、前年同期比 4 千 3 百万円の減益 (19.8%減) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に受取手形及び売掛金の減少により、1,269億7千1百万円となりました。

固定資産では、主に有形固定資産の減少により、1,780億2千4百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ47億9千4百万円減少の3,049億9千6百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少などにより、782億7千2百万円となりました。

固定負債では、長期借入金の減少などにより、597億3千万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ61億5千5百万円減少の1,380億2百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ13億6千1百万円増加の1,669億9千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期第2四半期および通期連結業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,279	42,422
受取手形及び売掛金	52,285	45,673
有価証券	49	-
棚卸資産	29,245	29,913
その他	9,302	8,962
流動資産合計	130,162	126,971
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,493	51,063
機械装置及び運搬具(純額)	57,921	57,306
建設仮勘定	17,016	17,996
その他(純額)	27,798	26,575
有形固定資産合計	154,229	152,942
無形固定資産	4,353	4,568
投資その他の資産		
投資有価証券	17,092	16,568
その他	4,067	4,001
貸倒引当金	△115	△57
投資その他の資産合計	21,044	20,513
固定資産合計	179,628	178,024
資産合計	309,790	304,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,629	41,617
短期借入金	5,020	4,941
1年内返済予定の長期借入金	10,772	12,383
未払法人税等	1,774	566
賞与引当金	1,488	865
役員賞与引当金	60	14
製品保証引当金	148	156
その他	18,629	17,726
流動負債合計	81,525	78,272
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	27,044	24,007
長期未払金	45	73
繰延税金負債	4,227	4,439
P C B 処理引当金	46	46
役員株式給付引当金	81	90
退職給付に係る負債	42	44
その他	1,145	1,030
固定負債合計	62,633	59,730
負債合計	144,158	138,002
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,446	4,446
利益剰余金	146,175	147,446
自己株式	△1,096	△1,129
株主資本合計	155,135	156,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,303	4,092
為替換算調整勘定	3,037	3,326
退職給付に係る調整累計額	△333	△316
その他の包括利益累計額合計	7,007	7,102
非支配株主持分	3,489	3,518
純資産合計	165,632	166,993
負債純資産合計	309,790	304,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	32,430	53,840
売上原価	30,331	47,523
売上総利益	2,099	6,316
販売費及び一般管理費	3,429	3,578
営業利益又は営業損失(△)	△1,330	2,738
営業外収益		
受取利息	61	29
受取配当金	187	203
固定資産賃貸料	21	20
為替差益	-	392
助成金収入	66	19
持分法による投資利益	78	74
その他	59	39
営業外収益合計	475	779
営業外費用		
支払利息	86	50
社債利息	7	14
固定資産賃貸費用	4	1
為替差損	418	-
外国源泉税	16	46
休業手当	128	73
その他	5	15
営業外費用合計	667	202
経常利益又は経常損失(△)	△1,522	3,315
特別利益		
固定資産売却益	3	29
その他	-	0
特別利益合計	3	29
特別損失		
固定資産除却損	16	16
投資有価証券売却損	-	18
その他	-	1
特別損失合計	16	36
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,534	3,308
法人税、住民税及び事業税	△203	874
法人税等調整額	397	574
法人税等合計	193	1,448
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,727	1,859
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△167	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,560	1,882

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,727	1,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	372	△198
為替換算調整勘定	225	201
退職給付に係る調整額	50	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△61	144
その他の包括利益合計	586	169
四半期包括利益	△1,141	2,028
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△984	1,978
非支配株主に係る四半期包括利益	△156	50

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社栃木三池は、2021年4月に清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,174	10,139	30,313	2,117	32,430	-	32,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	36	2	38	16	54	△54	-
計	20,210	10,141	30,351	2,133	32,485	△54	32,430
セグメント利益	△2,802	1,252	△1,549	219	△1,330	-	△1,330

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,109	11,696	51,806	2,034	53,840	-	53,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	3	40	17	57	△57	-
計	40,146	11,699	51,846	2,052	53,898	△57	53,840
セグメント利益	1,042	1,519	2,562	176	2,738	-	2,738

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。